

## JOMF 派遣医師便り (2019. 1)

### ◆シンガポール◆

## Project Silver Screening

シンガポール日本人会クリニック

日暮 浩実

これはシンガポールで行われている検診の一つです。

以前にも触れたことがあります。シンガポールは現在、急速に高齢化が進行しています。現在の65歳以上人口は13-14%ですが、2030年には25%に達すると予想されています。長寿社会が実現される中で、健康寿命がしばしば話題になり、長く健康を維持するためには健診・検診が欠かせません。日本でも様々な検診が行われていますが、このProject Silver Screeningは3項目からなる検診です。60歳以上のシンガポール国民が対象となります。

この検診は、その内容からFunctional Screeningとも呼ばれます。内容は、視力、聴力に関する検査、口腔に関する検査の3つの項目です。今年はシンガポールの各所で1月から3月にかけて月に10回程度、週末に合計29回行われる予定です。費用はpioneer citizen（1950年になる前に生まれ、1986年末までに市民権を得た人）は無料、Health Assist Card Holder（低中所得者）は2ドル、それ以外の一般市民は5ドルとなります（1シンガポールドルは約80円）。また、国民でなくても永住権保持者ならば希望すればこの検診を受けられますが、その場合は25ドルになります。要する時間は1時間ほどで、検診の結果は、すぐその場で知らされ、さらに詳しい検査が必要であることなどのアドバイスを受けることになります。以下に詳しい内容を記します。

### #1 目の検査

視力検査で、視力表、ピンホールテスト<sup>註1</sup>などを用いて、視力を測定します。

### #2 耳の検査

1. Hearing Handicap Inventory for Elderly Screening Version <sup>註2</sup> という質問表を用います。
2. 耳鳴り検査--2項目からなる検査で判断します

3. 耳鏡を用いて、外耳道、鼓膜などをチェックします。
4. 聴力テスト--オーディオメーターを用いて聴力を調べます。

### #3. 口腔の検査

視診を行い、Oral Health Assessment Tool を用いて口唇、舌、歯茎と組織、唾液、歯、入れ歯、口腔内の清浄の程度、歯の痛みという 8 項目に分けて評価します。それぞれの項目について Healthy=0, Changes=1, unhealthy=2 として点数化して口腔内の状態を評価します。

これら 3 項目の検査は、それぞれの検査終了後、すぐその場で、評価されます。そして、次にどうするか、さらに詳しい検査が必要か、または、検査とまでは行かない場合でも、必要に応じて、改善のためのアドバイスを受けることになります。

この検診は、Functional Screening という別名の通り、1. 日常生活に直結した 3 項目に集中し、それをひとまとめにしたスクリーニングであるという点、2. すぐその場で評価しアドバイスをするという点、3. 安価ではありますが、料金が設定があることなどが特徴的だと思いました。

現地の該当者（高齢者）に伺ったところ、多くの人はスクリーニングに行くのは面倒なので、実際にはあまり行かないとのことでした。国は、時々、ダイレクトメールによる住民の健康調査を実施するのですが、それに答えると優待券がもらえるようになっており、事実上、こうしたスクリーニングが無料になるというような工夫もしているとのことでした。なんとかしてこうしたスクリーニングに多くの方々が参加する様に促しているようです。高齢化社会に向けた対策と考えられ、今後の動向に興味を魅かれます。

#### 註 1 ピンホールテスト

不透明なディスクに開けられた小さな穴からのぞいて、視力を測定するもので、屈折異常の影響を小さくすることができるため、眼鏡でどのくらいの矯正が可能か推測できます。

#### 註 2 Hearing Handicap Inventory for Elderly Screening Version

10 項目からなる質問表に答え、聴力低下に関連した機能的（社会および感情）障害の程度を判断します。それぞれの質問の答えは 3 段階で点数化され、その合計点数から、聴力障害なし、中程度障害あり、高度障害あり、の 3 段階に分類されます。